

令和5年度 西和賀高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

西和賀高校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状	2 目標・目指す姿	
<p>[定量的現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」目標達成状況について 「時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。」 ・R3年度: 3人、R4年度: 0人 ◆ 年次休暇の取得状況について(年間一人当たりの平均取得日数) ・R3年度: 12日、R4年度: 11日 <p>[定性的現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員の意識 ・当校で推進する「時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロ」の取組が全教職員に徹底されてきている。 ○ 管理職のマネジメント ・新たな業務が発生した際、スクラップアンドビルドの視点を持って業務見直し等の対応を行っている。 		<p><R5年度目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」に掲げるR5年度の目標を達成します。 ○ 本校に勤務する先生方のワーク・ライフ・バランスを確保します。 <p><目指す姿></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こどもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しを図られている。 ・ 業務改善について、教員から積極的に提案がなされている。 ・ 働き方改革に係る課題について、学校全体で共有し、その解決を図る場が定期的に設定されている。 ・ 教職員がいきいきとやりがいをもって、子どもたちに向き合うことができている。 ・ 土日のうちどちらか一日を確実に休むことができている。 ・ ICT機器を活用して効率的かつ効果的な教育活動が展開できている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○ 教職員の健康管理	○ 学校における業務改善の推進	○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・ 長時間勤務者の要因分析を確実に実施し、教職員の健康を確保します。 ・ 学校医・学校薬剤師や労働組合と連携して健康管理を推進します。 ・ 管理職が、各教職員の時間外在校等時間について把握し適切に声掛けをします。 ・ 心身のリフレッシュのため年次休暇の取得を促進します。 ・ 年次の取得日数を増やし、家庭での時間を作ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事等の見直しによる業務の改善を推進します。 ・ 会議の必要性を含めた在り方を考え、効率化を進めます。 ・ かがやきプラン推進事業支援員、部活動指導員の活用による業務軽減を目指します。 ・ ICT機器活用による効率的な教育活動に取り組みます。(課題の配付・回収、Formsによりアンケートなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体業務の明確化・適正化を推進し負担の軽減を図ります。 ・ コミュニティスクールを活用し、地域と一体となって学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進について検討します。 ・ 留守番電話等による時間外対応をします。 ・ 外部人材による補助を検討します。

令和5年5月1日 西和賀高等学校長 助川剛栄

<p>(参考)「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」(抜粋)</p> <p>【策定趣旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 働き方改革の実現により、岩手の未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。 <p>【プランの目標】</p> <p>目標1 県立学校の教員の時間外在校等時間の縮減</p> <p>(1) 時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>・ 令和3年度実績</td> <td>県立学校計</td> <td>71名</td> </tr> <tr> <td>・ 令和4年度実績 (第3四半期まで)</td> <td>県立学校計</td> <td>21名</td> </tr> </table>	・ 令和3年度実績	県立学校計	71名	・ 令和4年度実績 (第3四半期まで)	県立学校計	21名	<p>(2) 時間外在校等時間 (週休日の部活動指導従事時間を除く。) が月45時間超、年360時間超の者を下記のとおり縮減する。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="border: none;">時間外 在校等時間</td> <td style="border: none;">取組期間</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">月45時間超</td> <td style="border: none;">令和5(2023)年度</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">年360時間超</td> <td style="border: none;">ゼロ</td> </tr> </table> <p>目標2 業務への充実感や、健康面での安心感の向上</p> <p>令和5年度において、アンケート調査に基づく肯定的実感が令和3年度の実施結果から向上することを目指す。</p>	時間外 在校等時間	取組期間	月45時間超	令和5(2023)年度	年360時間超	ゼロ
・ 令和3年度実績	県立学校計	71名											
・ 令和4年度実績 (第3四半期まで)	県立学校計	21名											
時間外 在校等時間	取組期間												
月45時間超	令和5(2023)年度												
年360時間超	ゼロ												